

潜入! 出荷までの軌跡

メロンの栽培方法を知っていますか? 種を植えてから、市場に出荷するまでの作業現場を約4カ月間密着取材しました。



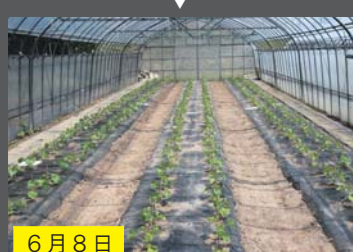
5月10日
播種。一つ一つの向きをそろえ、均一の間隔で育苗に種をまく



5月18日
鉢上げ。発芽した苗を一つ一つ丁寧に育苗ポットに移していく



5月31日
耕起。ハウス内の土を掘り返し、苗を植える準備をする



6月8日
定植。育苗ポットから苗を出し、優しく丁寧にハウスの土に植える



6月27日
つる上げ。添え木をして、つるが上に伸びるようにする

黄金メロン研究会の 声

農家数が減少していく厳しい現実の中、「黄金メロンを平泉の特産物にする」という火を絶やさないため、今年も栽培に取り組んだ生産者たちに話を伺いました。



メロン栽培歴 19年
2017年定植数 150本
丸山安四 さん
(20区・1934年生まれ)

実績を作り、次の世代につなげる

黄金メロンをお盆時期の贈答品として出荷させるためには、統一された品質のメロンができるように、天候や気温などに対応した栽培技術を確立することが求められます。栽培技術を高め、経験を積み重ねることは黄金メロンの生産者確保にもつながっていくはずで

今いる黄金メロン研究会のメンバーで実績を作り、次の世代につなげていけたらと思います。

一緒に頑張る仲間がいて楽しい

日々注意しながら管理していましたが、株が病気になるなど、まだまだ自分の経験不足を感じた1年でした。生産量拡大に向けて一緒に頑張っている黄金メロン研究会の仲間がいるからこそ、楽しく栽培が続けられています。

生産者が良いメロンを作れば、消費者にも必ず伝わり、きちんと評価されます。メロンを食べた人が「おいしい!」と言ってくれたときにとてもやりがいを感じます。



メロン栽培歴 2年
2017年定植数 270本
菅原正義 さん
(11区・1954年生まれ)

黄金メロンの生産量の拡大が必要

今年の天候は日照不足などが続いたため、実が大きくならなかったり、きれいな網目模様にならないなど、メロン栽培の難しさを改めて感じました。来年はもっと良いメロンを出荷できるように頑張りたいです。

黄金メロンを特産物として定着させるためには、生産量の拡大が必要となります。黄金メロン研究会の人数が少ないので、ぜひ若い人などにも参加してほしいです。

手間暇かけた分きちんと生長する

田植え後の育苗ハウスを借りて、黄金メロンの栽培をしています。管理は大変ですが、農作物は手間暇かけた分きちんと生長するので楽しいです。

自分がつくったメロンは糖度にバラつきがあり、まだ一定の品質になっていないため、販売はしておらず、メロン栽培は趣味の域なのが現状です。来年は自信を持って「おいしい黄金メロンです」と言えるように頑張ります。



メロン栽培歴 2年
2017年定植数 150本
前田光春 さん
(14区・1961年生まれ)



7月4日
開花・授粉。おしべの花粉をめしべに優しくあてがう



7月19日
摘果・玉吊るし。一つの株に型の良い実を一玉だけ残して、落ちないようにひもで吊るす



① 傷があったり、型の悪いものは取り除き、最終的に「1株に1玉」とする／② 温度・湿度管理徹底のため露地ではなくハウス栽培を基本としている／③ 糖度を測定する糖度計／④ 株をひもで引っ張り上げることで病気の有無を確認しやすい

黄金メロンの栽培の特徴とは—。生産者の取り組みを知ること、高級メロンを目指している黄金メロンが持つ「実の力」が見えてきます。

こだわりの4つの特徴
糖度を高めて品質の良いメロンを作るため、栽培する際にはさまざまな工夫がされています。

① **ハウス栽培**
おいしいメロンを作るためには湿度や温度管理が重要。太陽の光をいっぱい浴び、温度調整などができるように露地ではなくハウス栽培に取り組んでいます。

② **立ち作り栽培**
株を地面に這わせる地這い栽培ではなく、株をひもで引っ張り上げ、縦に伸ばす立ち作りで

栽培しています。通気性が良くなり、株や果実の状態がよく見え、病気が発生しやすくなります。

③ **1株から1玉を収穫**
メロンは通常1株から3玉程度収穫できますが、黄金メロンは栄養を1玉の果実に集中させるため、形や状態の良い果実以外は全て取り除き、1株に1玉の状態栽培します。

④ **糖度は14度以上**
一般的なメロンの糖度が12〜14度だとすると、黄金メロンの糖度は14度以上。14度を下回ると出荷が認められません。

第2章

実力

栽培に対する情熱と誇り



「おいしいメロンを作るには日々の管理が大切」と話す黄金メロン研究会会長の高橋正洋さん

品質を守るための取り組み



【栽培指導会】
生産者のハウスを巡回し、株の状態などを確認し、種苗業者などから栽培方法のアドバイスをもらいます。



【規格指導会】
栽培したメロンを実際に見ながら、生産者が一つ一つの重さや糖度を測り、商品の出来栄を確認します。